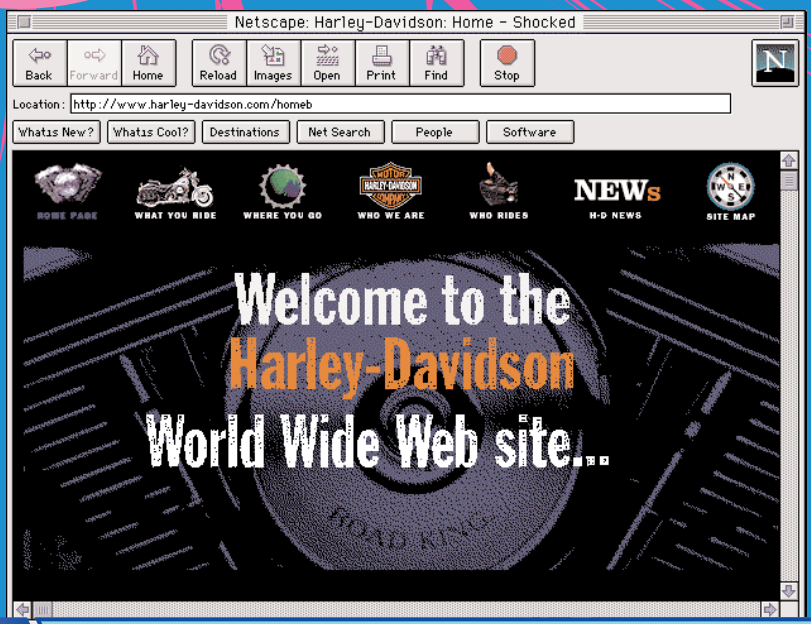
今泉 洋の What's Cool

What's Cool



マッチョでも親切なアメリカンバイク　ハーレー・ダビッドソン

Harley-Davidson: Caution

URL http://www.harley-davidson.com/

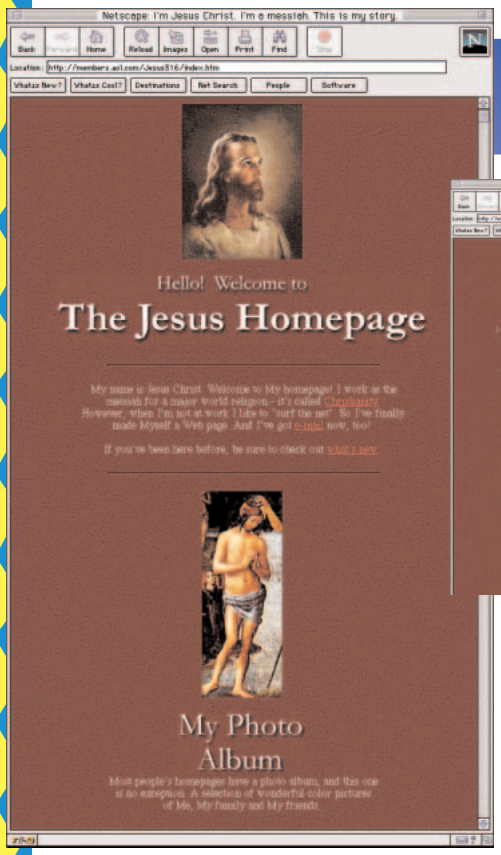
一時期、日本製のバイクに駆逐されて絶命状態が伝えられたアメリカンバイクの総本山ハーレー・ダビッドソンのホームページ。「833cc以下の排気量お断り」の警告を無視してショックウェーブ版を選択。ウェブに入ると、いきなりハーレー独特のサウンド。好きな人はそのままずっと聞いていたくなりそうな音？　しかも、手書きの文字が振動するという手の込んだ演出だ。

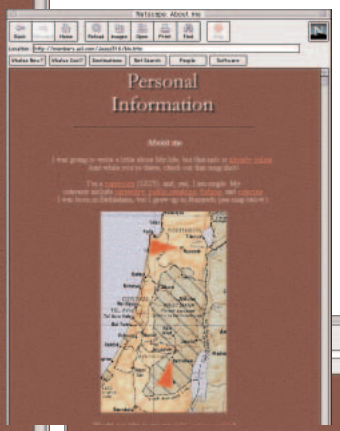
メーカーのウェブサイトらしく、エンジンやモデルごとの説明、カスタマイズ情報などのお約束情報がそろっているのはもちろんだが、特に興味深かったのが「Gread Destinations」というバイク旅行ガイドのページ。カリフォルニアの太平洋沿岸を走るハイウェイ1をはじめ、ハーレー乗りならぜひ訪れてみたい全米のツーリングコースの解説が写真や地図付きで掲載されている。また、より詳細な地図が必要ならば、インタラクティブ地図をサービスしている「MapQuest（http://www.mapquest.com/）」へのリンクもあるという親切ぶり。

ハーレーというと皮のつなぎでローライダー、ヘルスエンジェルスという“ワル”のイメージが強いが、ライダー紹介ではごく普通の人々が登場。その辺もちゃんと考えてあるところが泣かせます。

RealAudio 今回紹介したサイトガイドがリアルオーディオで聞ける！
「What's Cool Radio」
URL http://home.impress.co.jp/magazine/inetmag/radio/

©1994-2007 Impress R&D





この方もホームページをお持ちのようです

I'm Jesus Christ. I'm a messiah. This is my story.

URL http://members.aol.com/Jesus316/index.htm

「やあ！ ジーザスのホームページにようこそ」で始まるこのページ。この方のお名前はジーザス・クライスト。言うまでもなく、ふだんは救世主として働いておられる方。しかし自己紹介によれば、働いていない時はネットサーフィンがお好きだとのこと。そこでついにホームページをお作りになられました。

ほかの多くのホームページに写真アルバムがあるように、ご自身、ご家族、ご友人のカラー写真も用意され、さらにリンクやパーソナル情報なども公開しておられます。

また、よき主の使いであるイエス様は、当然、インターネットを通じて人々の声をお聞きになっておられますが、その反応を集めたメールバックのアーカイブは、ヒステリックなものからユーモラスなものまで、まさに賛否両論。

クリスマスを前に、一度はこの方のホームページを訪れてみるのも一興かと思われます。

意外に新鮮？ 往年のスクリーン・ビューティー集

Doug Stickney's Silver Screen Siren Website

URL http://users.deltanet.com/users/dstickne/

映画が生まれてから100年。スクリーンに登場する美女たちが映画産業の発展に果たした役割については改めて言うまでもない（ちょっと堅い？）。では、彼女たちの写真を一堂に集めてみれば……というわけか、あるいは作者が単に美人好きだからか、ともかくできあがったのが（クラシックな表現をすれば）映画の銀幕を飾った往年の映画女優のポートレートを集めたウェブページ。

まず驚くのは、どこから持ってきたのかその数が中途半端ではないこと。さらに「？」と思ってしまうような容貌の方もいらっしゃって……。

最近の70年代ファッションブームに見られるように、流行は何年かごとに新しい装いで繰り返すらしいが、いかにもレタッチしたと分かる写真の中にはすごく最先端な雰囲気を醸し出しているものもあり、ちょっと新鮮。「永遠の美女」という表現もあるけれど、どんな女性が美人なのか、美意識って時代ごとに変わっていくんだな、ということを実感させてくれる。

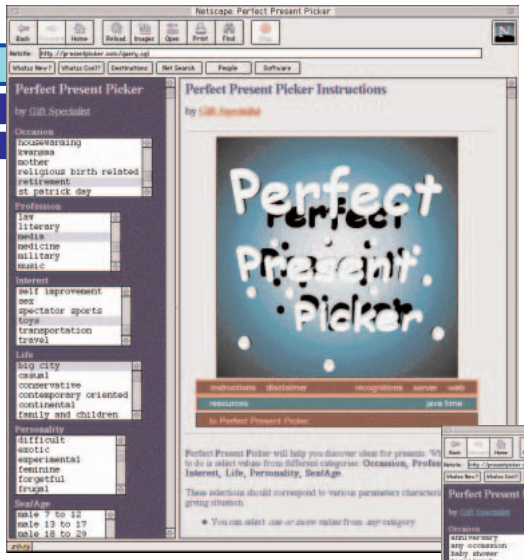
このほか、クラシックな映画ポスターのコレクションもあって、デザイン関係者にはグラフィックスのお勉強にもなるかもしれない。

インターネットマガジン／インプレスR&D
© 1994-2007 Impress R&D

プレゼントの季節　お悩みのあなたにお勧め

Perfect Present Picker

URL http://presentpicker.com/



考えてみると、プレゼントというのは恐ろしい儀式である。なぜなら、贈るほうにとっては逆にセンスを値踏みされてしまうこともあるからだ。相手の希望をきちんととらえて、ピッタンコのものを贈るというのはまず基本。ちょっとひねって気の利いたものをプレゼントできるようでなければ、こっちのセンスには感心してもらえない。下手なものを選ぶと逆効果ということも往々にしてあるのである。

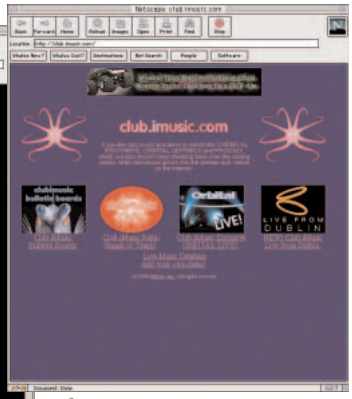
そこでない知恵を絞って……となるのだが、そんなとき頼りになるのがこのページ。どういう機会に贈るのか、相手の人の職業や興味、暮らしぶり、性格、性別と年齢などを選択してボタン一発。たちどころに最適なプレゼント候補のリストが商品購入案内などとともに出てくるという、いかにもアメリカっぽい合理的なサービス（ついでに品目もけっこうアメリカっぽくて笑える）。

ちなみに「本誌編集長が近々引退」という架空のシナリオで選択したところ、出てきたのはプラスチックの「パニックボタン」（3ドル）……。これも怖いが、どんなパラメータを入れたのかを知られるのがもっと怖い。

音楽ウェブサイトのガイドがグッドです

Welcome to iMusic

URL http://www.imusic.com/



このサイト、実は同じホームページに2つ（iMusic.comとclub.imusic.com）の入り口があり、ユーザーはSoundgardenやThe Smashing Pumpkins、Alice in Chainが好きか、あるいはThe OrbやChemical Brothers、Underworldが好きかの、どちらかを選択するようになっている。そう言われて「う〜ん、どっちでもないでぇす」という人はメロドラマぶんぶんの「MelrosePlace」に飛ばされてしまうという荒業あり。

iMusicのほうに入ると、音楽コンテンツのテンコ盛り状態。詳しくはディレクトリをクリックしてもらうとして、見逃せないのが「Top 100 Websites（http://imusic.com/top100/top100.htm）」。名前のとおり、ウェブに上がっているアーティストのサイトをグラフィックス、AV度、イノベーションの5ツ星で評価して紹介しているが、これがなかなかのできばえ。音楽ウェブへのスターティングページとしても使えそう。

club.imusic.comのほうはあまりちゃんとメンテナンスされていないようだが、とりあえずクラブ系サウンドのファイル（人気投票機能付き）や過去のライブも残っているので、その方面の人には楽しめるだろう。

思わずニヤリ　ローカルカルチャーの隙間が面白い

American Slanguages

URL http://www.slanguage.com/

アメリカおよび世界各地のスラング（俗語）をまとめたウェブページ。といっても、実用一辺倒の辞書ではない。アメリカ各地のロコ（土地の人）が使っている“くせ”のあるしゃべり方、それぞれが当たり前と思っている言い回しやその町独特のポピュラーな商品名などを取り混ぜ、アウトサイダーのちょっと皮肉った視点で町の特徴をまとめたもの。

たとえば西海岸のシアトルでは、「Gortex（有名な防寒用の繊維素材）＝シアトル人は皮膚の代わりにこれを身につけて生まれてくる」、「Redmond＝ビル・ゲイツが買収した町」などという記述もあり、分かる人ならついニヤリとしてしまう項目がいっぱいだ。

米国内にとどまらず外国版も用意されており、「Fun Japanese」というページでは日本語の発音を英語風に書くとどうなるかというサンプル……たとえば「ごめんなさい＝pardon me」は「Go Men AhSigh」となる……もあって、なかなか勉強になる（？）。

伝説の人工無（？）能「Eliza」と話そう

Home @ BotSpot.com, "The Spot for all Bots on the Net"

URL http://botspot.com/main.html

「Bot」とは何か？　う～ん……とりあえずは、最近注目されている「エージェント」など、サイバースペース上のいわゆる“人工知能”的存在と考えていいだろう。このウェブページは彼ら（？）に関する情報を集約したもので、ウェブ上で公開されている豊富なボット関連ウェブページにアクセスすることができる。

中でも面白いのが、オリジナルボットとして知られる「イライザ」とチャットのできるコーナー。イライザは1966年にMITで人工知能の研究を行っていたワイゼンバウム博士が開発したプログラムで、彼女（？）と人々との“会話”を観察して博士が得た結論は、人工知能研究のその後に一石を投じたといういわくつき。ユーザーは実際に彼女と「会話にならないチャット」を体験することができる。素人としては、こんなもので博士が考え込んでしまったというほうが不思議だが……。

このほか「New Bots」「今週のBot」というコーナーもあり、インターネットなどで活躍しているボット一族の数多くのパーソナリティーが紹介されている。冷やかし半分でも、サイバースペースの今後を考えるなら、ぜひのぞいてみたいページである。

自分のマシンを最新チューンするならここだ

DOWNLOAD.COM -- Welcome

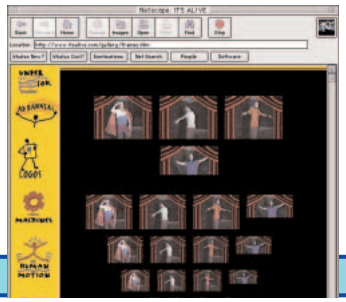
URL http://www.download.com/

ネットユーザーのための本格的な情報ウェブサイト「CNET.COM」を皮切りに、同名のCATVチャンネルを開始、続いて「NEWS.COM」、「SEARCH.COM」、「SHAREWARE.COM」、さらには「ACTIVEX.COM」まで、一部の市場アナリストには無謀と指摘されるほどの勢いでコンテンツの充実に邁進しているC/NETの新サービス。

インターネット上で流通しているソフト（試用版も含む）やデータなどについて、ニュースハイライトで最新の情報を提供するほか、最も人気のあるソフト、新しいタイトル、お勧めソフトなどのリストが用意されている。またビジネスや開発ツール、ゲーム、インターネットなどのカテゴリー別ブラウズ、キーワード検索なども可能で、もちろんアップデートされた時期やファイルサイズなどを確かめたうえでダウンロードすることができる。ユーザーの利用しているマシンを自動的に判別して適切なページに誘導してくれるのも便利だ。

自分のマシンのポテンシャルを最大限に生かしながらネットを楽しんでみたいという人には是非お勧めのサイトである。

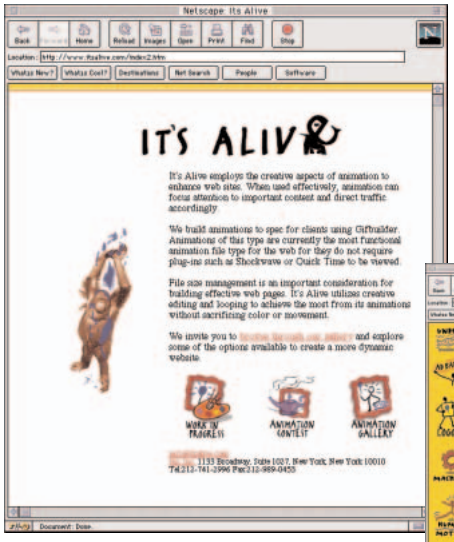
インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

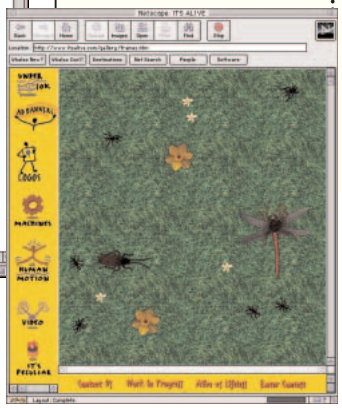


アイデア命　簡単（かもしれない）GIFアニメに注目

ITS ALIVE Gif Animation. Gif Animation Gallery using Gifbuilder 0.4. Thanks Yves Piguet. Custom designed Gif Animations for the web.

URL http://www.itsalive.com/





ホームページをおしゃれにしたいと思う人なら必ず注目するのがアニメーション。しかし、ショックウェーブは大変そうだし、Javaとなるとますます……と二の足を踏む人が多い。「そんなあなたにお勧めなのが簡単GIFアニメーション」なんていう特集があちこちで見られる昨今。しかし下手をすると技術解説だけで「なぁ～んのヒントにもなりません」という声もちらほら。そんな時には、やっぱり現物を見てみたいものである。

というわけで、ここに紹介するのはニューヨークでGIFアニメを生かしたウェブデザインを手掛けるIn2社のページ。アニメーションギャラリーには10Kバイト以下のサイズからバナー広告、ロゴなどへの応用パターンがびっしり集められている。順繰りにずっと見ていくと、確かに技術的な問題もあるけれど、やっぱりこれはアイデアの勝負、センスの問題なのかもしれないと思い知らされる。

なお、このサイトではアニメーションのコンテストも開催しているので、いい作品ができたら応募してみてはどうだろう？

けっこうシブい　真空管時代のラジオコレクション

Antique Radio Page

URL http://members.aol.com/djadamson/arp.html

アメリカは日本に比べれば歴史の浅い国である。だからこそかもしれないが、アンティークに対する関心は高い。さらに、愛国心や国民としてのプライドとも関連しているのかもしれないが、特にここ数十年間、アメリカが世界に普及させ（たものの）、今や骨董品なみになってしまった工業製品に対する愛着は強いようだ。

たとえば、アメリカの田舎町などに出かけてみると、日本ではとうてい収集の対象にはならず、捨てられてしまうに違いない古いラジオなどが骨董屋で売られていたりする。

そんな趣味の人が作ったこのウェブの見どころは、なんといっても20年代から50年代の管球式ラジオ、初期のトランジスタラジオやノベルティー、家電関係のグッズを集めたギャラリー。

真空管や大型のラジオは、もはや巨大電子企業となってしまった米国のメーカー製だったりする。また年代の新しいトランジスターラジオのギャラリーには日本のメーカーの名前を見ることもでき、海のこちら側の日本人としては、こうやって日本の家電産業が立ち上がっていったのかと感慨深いものがある。

インターネットマガジン／株式会社インプレスR&D
©1994-2007 Impress R&D

［インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ］ ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D（株式会社インプレスから分割）が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン　バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

http://i.impressRD.jp/bn

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D（当時は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先
株式会社インプレスR&D
All-in-One INTERNET magazine 編集部
im-info@impress.co.jp

Copyright © 1994-2007 Impress R&D, an Impress Group company. All rights reserved.